

# 避難を円滑に行うための対応策

- とまりむら
 泊村では自家用車避難を円滑に行うため、対象となる住民に「避難車両シール」を配布することとしている。
- とまりむら きょうわちよう
 北海道、泊村及び共和町では、発電所で緊急事態が発生した場合における住民が取るべき行動や避難先等の情報を掲載した「北海道原子力防災カレンダー」や「原子力防災のしおり」等の啓発資料を作成し、町村内の全戸に配布するなど、避難を円滑に行うための普及啓発を継続的に実施。



避難車両シール



緊急時において、住民から、避難などの依頼があった場合は、  
北海道町村が提供するバスで避難する場合は、次の場向へ集合してください。

町	集合場所	町	集合場所
網走	網走駅前集合所	紋別	紋別駅前集合所
紋別	紋別駅前集合所	釧路	釧路駅前集合所
釧路	釧路駅前集合所	小樽	小樽駅前集合所
小樽	小樽駅前集合所	札幌	札幌駅前集合所
札幌	札幌駅前集合所	旭川	旭川駅前集合所
旭川	旭川駅前集合所	帯広	帯広駅前集合所
帯広	帯広駅前集合所	富良野	富良野駅前集合所
富良野	富良野駅前集合所	十勝	十勝駅前集合所
十勝	十勝駅前集合所	空知	空知駅前集合所
空知	空知駅前集合所	支庁	支庁駅前集合所
支庁	支庁駅前集合所	道庁	道庁駅前集合所

※ 避難場所として指定する場合は、必ず避難する前にこのカレンダーを確認してください。  
 ※ 避難場所として指定する場合は、必ず避難する前にこのカレンダーを確認してください。  
 ※ 避難場所として指定する場合は、必ず避難する前にこのカレンダーを確認してください。  
 ※ 避難場所として指定する場合は、必ず避難する前にこのカレンダーを確認してください。

北海道原子力防災カレンダー  
(裏表紙にはバス集合場所を記載)



原子力防災のしおり

## 6. UPZ圏内における対応

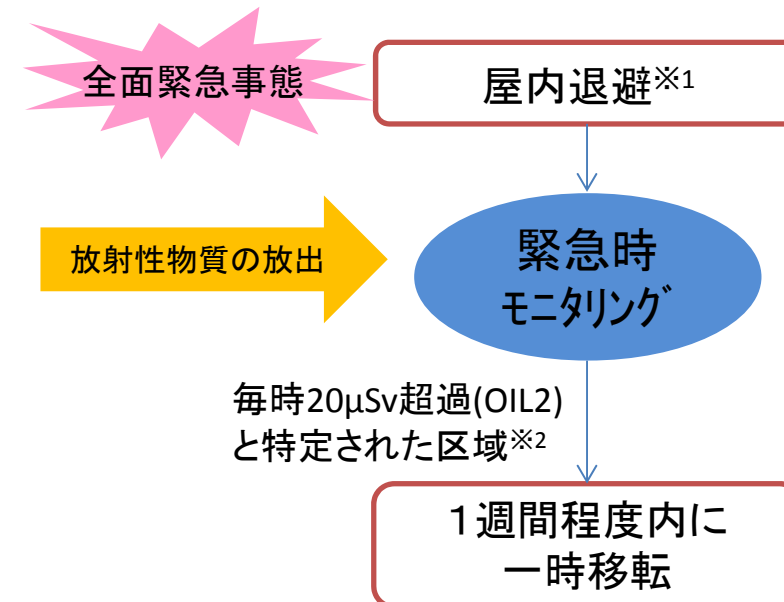
### <対応のポイント>

1. 放射性物質が放出される前には、全面緊急事態において、住民（避難行動要支援者を含む）の屋内退避を開始するため、これを円滑に実施できる体制が必要。
2. 放射性物質の放出後は、緊急時モニタリングの結果を踏まえて、原子力災害対策指針で定める基準（OIL）に基づき、空間放射線量率が毎時 $20\mu\text{Sv}$ 超過の区域を特定。当該区域の住民は一時移転を行うこととなるため、施設からの距離に応じ、1週間程度内に一時移転できる体制が必要。

- 全面緊急事態となった場合、放射性物質の放出前の段階においては、予防的防護措置として、PAZ圏内における住民の即時避難開始とともに、UPZ圏内においては住民の屋内退避を開始する。
- 放射性物質の放出に至った場合、放射性プルームが通過している間に屋外で行動するとかえって被ばくのリスクが増加するおそれがあるため、屋内退避を継続する。
- その後、原子力災害対策本部が、緊急時モニタリングの結果に基づき、空間放射線量率が毎時 $20\mu\text{Sv}$ 超過となる区域を1日程度内に特定。当該区域の住民は原子力災害対策本部の指示により1週間程度内に一時移転を実施する。



## UPZ圏内の防護措置の基本的な流れ



- ※1 地震等により家屋における屋内退避が困難な場合には、近隣の避難所等にて屋内退避。仮に近隣の避難所等に収容できない場合には、地震等による影響がない避難所等を、UPZ内外を含め選定し、避難等を実施。
- ※2 空間放射線量率が毎時 $500\mu\text{Sv}$ 超過(OIL1)となる区域が特定された場合は当該区域の住民を速やかに避難させる。

